2015 年 10 月 17 日

報道関係各位

ONE ふくしま事務局

福島の再生を目指す ONE ふくしま

『サンクスタオル贈呈式

～感謝・応援の気持ちをこれからへの力に～』を

福島県立保原高等学校のりんどう祭で開催！

～保原高校美術部の部員達が、除染作業員の方々へ感謝と応援の気持ちを込めて
自ら描いたオリジナルデザインの「サンクスタオル」を贈呈！
学校全体で感謝の気持ちを形にした「モザイクアート」もお披露目～

「ONE ふくしま」は、10 月 17 日（土）に、福島県立保原高等学校の文化祭「りんどう祭 CONNECT ～つながる～」において、全校生徒が集まる体育館のステージで、『ONE ふくしまサンクスタオル贈呈式 in 福島県立保原高等学校りんどう祭～感謝・応援の気持ちをこれからへの力に～』を開催しました。

「ONE ふくしま」では、昨年郡山市での贈呈式を皮切りとした「サンクスヘルメット」の取組を、今年は県北地域に広げています。8 月 23 日（日）に実施した、福島市での『ONE ふくしまサンクスヘルメット贈呈式 with なすびトークショー』、そして 10 月 12 日（月・祝）に実施した、桑折町での『サンクスヘルメット贈呈式 with 井上苑子ライブ』、これらに続く活動として、感謝と応援の気持ちを新しい形で伝える「サンクスタオル」の取組が伊達市の保原高校で行われました。

今年 7 月から、保原高校では美術部 30 名の部員達が、除染作業員の方々へ感謝と応援の気持ちを込めて、自分達で独自にデザインした絵を描いてきました。その中から部員達で 10 枚の作品を選び、その絵をデザインした「サンクスタオル」2000 枚（生徒デザイン 10 種類×各 200 枚）を、地域の除染作業員の方々に贈ることになりました。

17 日(土)に、りんどう祭体育館ステージで、美術部員 30 名と美術部顧問の番匠あつみ（ばんしょうあつみ）先生やりんどう祭実行員会が参加し、タオルをデザインした部員 10 名から除染作業員の代表 5 名に、「サンクスタオル」を手渡す贈呈式が行われました。そして、この日のために保原高校全員から除染作業員の方々へ感謝の気持ちを形にした「モザイクアート」の製作映像の紹介と、その実物のお披露目が行われました。「モザイクアート」は、21 日（水）に、地域の除染作業所「伊藤土木」に寄贈されて壁に掲出されます。

当日の特別ゲストに招待された伊達市の仁志田昇司（にしだしょうじ）市長は、「伊達市でも除染に取り組んできましたが、まだこれからも放射能の問題や風評被害にも皆で頑張って取り組んでいかなければなりません。除染作業に従事する方々へ子どもたちからサンクスタオルが贈られること

は私としても大変嬉しく思います」と挨拶しました。 保原高校の坂爪靖夫（さかづめやすお）校長は、「本校では震災以降、人々の心に明るい希望や元気が生まれるようにと願って‘がれきに花を咲かせようプロジェクト’などを通じて様々な交流を続けてきました。‘サンクスタオル’は、生徒達が除染作業員の方々を思い浮かべながら感謝や激励の気持ちをデザインしたものです。子どもたちの沢山の思いが詰まっていますので、現場でご活用いただき癒して頂ければと思います」と話しました。タオルをデザインした美術部員の桑島 健（くわじまたける）さんは、「除染作業員の皆さんへの感謝の気持ちを込めて保原高校のマスコットキャラクターの狸‘ささりん’をデザインしました。疲れた時にこのタオルで和んで頂けると嬉しいです。」と作品に込めた思いを述べました。タオルを受け取った除染作業員代表の利根川組の利根川靖幸（とねがわやすゆき）さんは、「除染作業や復興工事の際に、本日皆さんに頂いた感謝や励ましの気持ちをこのタオルを使うことで感じながらしっかり作業をやっていきます。そして、地域のために未来のために、一生懸命仕事に励んでいきたいと思います。本当にありがとうございました。」と述べました。

また、当日の贈呈式の様子は、同日に東京国際フォーラムで開催された「ふくしま大交流フェア（主催：福島県、共催：東京都、協力：東京商工会議所）」の展示ホール内のONE ふくしまブースにて、保原高校の「がれきに花をさかせよう！プロジェクト」と「サンクスタオル」の展示とともに、モニターで放映されました。これからも「ONE ふくしま」は、福島再生のために、様々な情報発信を続けていきます。

＜実施概要＞

◇名称：『「ONE ふくしまサンクスタオル贈呈式 in 福島県立保原高等学校 りんどう祭」
～感謝・応援の気持ちをこれからへの力に～』

◇日時：2015 年 10 月 17 日（土）13：20～14:30(一般非公開)
りんどう祭の一般公開は 10 月 18 日（日）10：00～15：00（最終受付 14：30）

◇会場：福島県立保原高等学校　校内大体育館

◇主催：ONE ふくしま

◇制作：福島テレビ

◇協力：環境省、福島県立保原高等学校

◇登壇者

・仁志田昇司 伊達市長

・坂爪靖男 保原高等学校 校長、番匠あつみ 美術部顧問

・除染作業員：利根川組 利根川靖幸さん、山崎組 山崎 操さん、伊藤土木 長島勝美さん、
酒井東映コーポレーション 渡辺健治さん、井上建材 佐川祐介さん

・保原高等学校：美術部員 30 名、りんどう祭 2015 実行委員会生徒 4 名
タオルをデザインした美術部代表生徒 10 名
2 年 桑島 健さん、後藤瑳来さん、近藤智恵さん、斎藤ひなのさん、鈴木麻友さん、
寺島まるみさん、1 年 齊藤 愛さん、佐藤乃碧さん、佐藤 鈴さん、髙橋日向さん

＜保原高校の美術部によるサンクスタオルデザイン＞

①2年 桑島 健 くわしま たける
②2年 後藤 瑳来 ごとう さら
③2年 近藤 智恵 こんどう ちえ
④2年 斎藤 ひなの さいとう
⑤2年 鈴木 麻友 すずき まゆ
⑥2年 寺島 まるみ てらしま
⑦1年 齋藤 愛 さいとう あい
⑧1年 佐藤 乃碧 さとう のあ
⑨1年 佐藤 鈴 さとう りん
⑩1年 高橋 日向 たかはし ひなた

＜ONE ふくしまに関するお問い合わせ先＞
ONE ふくしま事務局（電通東日本内）：担当本間
TEL:024-521-0622 FAX:024-521-0623　Mail:hidenori.honma@dej.dentsu.co.jp

【参考】

■「ONE ふくしま」について

「ONE ふくしま」とは、「福島の再生を目指して」という想いのもとに、共に広告企画を考えるという趣旨に賛同した福島のメディアとそのチーム及びその取組の総称です。

＜ONE ふくしま　参加社（8 社　2015 年 10 月現在）＞

福島民報社・福島民友新聞社・
福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビュー福島・
ラジオ福島・ふくしま FM
事務局：電通・電通東日本

■「サンクスヘルメット」の取組について

サンクス ヘルメット

「サンクスヘルメット」とは、「ONE ふくしま」が主体となって、昨年、郡山市の小中学校 3 校の児童・生徒達及び「ふたばワールド」（2014 年 9 月 28 日開催）に参加した方々から寄せられた、除染作業員に対するメッセージをステッカー化して福島県内の除染作業員に配布し、各自のヘルメットに貼り付けてもらう企画として、スタートしました。

郡山市での『サンクスヘルメット贈呈式 with 川嶋あい LIVE』（2014 年 10 月 12 日開催）を皮切りとした「サンクスヘルメット」の取組によって、福島県の約 3 万人の除染作業員の方々に、子どもたちからの感謝や応援のメッセージが届けられました。そして、除染作業員の方々は、郡山市の小中学

校の児童・生徒達に心を込めて「お返しがしたい」と、自発的な取組として、校庭の的当て壁の塗り替え、花を植えたプランターの贈呈などを行い、「ONE ふくしま」もその取組を後押ししました。

今年は、この活動を県北地域に広げています。福島市では、『ONE ふくしまサンクスヘルメット贈呈式 with なすびトークショー』(2015 年 8 月 23 日開催)を、そして、桑折町では、『ONE ふくしまサンクスヘルメット贈呈式 with 井上苑子ライブ』(2015 年 10 月 12 日開催)を実施しました。

■当日の様子

「‘ONE ふくしまサンクスタオル贈呈式’でサンクスタオルを手渡す保原高校美術部の部員達と除染作業員の方々」、「‘ONE ふくしまサンクスタオル贈呈式’ステージでの記念撮影」

「‘ONE ふくしまサンクスタオル贈呈式’で来賓として挨拶する伊達市仁志田昇司市長」と、「保原高校の美術部員達によるオリジナルデザインのサンクスタオル」

「贈呈式でお披露目された除染作業員の方々への全校生徒の感謝の気持ちを表した‘モザイクアート’」、「東京で同日に開催された‘ふくしま大交流フェア’に出展した ONE ふくしまブースの様子」